

最近テレビを観て楽しむことも随分と少なくなった。観るとしてもニュースかドキュメンタリー番組がほとんどである。そんな中でもNHKの「日本の里山」は欠かさず観るようにしている。また娯楽番組的な感じもあって楽しませてくれる「チコちゃんに叱られる」は大いに気に入っている。チコちゃんの質問はいつも日常にあって、しかしいつも新鮮な感動を与えてくれる。それがいい。

「なんで大人になると一日が早く感じられるの」。こんな質問があったが、改めて考えてみると答えがなかなか見つからなかった。そして、その答えは「トキメキがないから」ということだったが、私も一日どころか一年さえも短く早く過ぎ去るように感じていたことから、妙に納得させられてしまったことだった。「トキメキ」とは「期待や喜びで胸躍る状態の事」と辞書には書いてあるが、なるほど自分の生活にはトキメクことなどほとんどないことに気づかされたきっかけでもあった。

すべてが当たり前前の生活の中では「驚く」ことはあっても「感動し、心がトキメク」ようなことにはなかなか出会えないのかもしれないと思われる。私たちが呼吸をし、心臓が動いていることに無意識でいるように、「当たり前」の意識は不思議を不思議に思う心を麻痺させてしまっている状態であり、感覚ではないだろうか。日常の当たり前を見つめなおす眼をいただくところこそ、仏法のおはたらきがあるのだと、そう教えられているように思えてくることだった。

地道な努力で地域に貢献

H-1-122
昨年の4月5日に「寄稿いただきました岩田さん。今回はその記事の中で、改めてお尋ねしたいな」と思ったことについて、インタビューをさせていただきました。

4月号では「今を大切に」をテーマに、高齢化社会を生きるにあたって行く場所がある「こと」と「居場所がある」ということの大切さを述べていただきました。

岩田さんにとこの「居場所」については、ボランティア活動を主軸にした活動の場があり、多くの人の出会いがあるということが大きな活力になっているとのことでした。そしてそんな活動の一つに岩田さんでしかできないような活動があることを知りました。今回はその内容についての紹介です。

1、すのまた 四季の回廊 上下 及び総集編一冊の作成。

2、いき粋墨俣 つりびな小町めくり 平成二十三年から今年までの活動記録 9冊のファイルの作成などがあります。

四季の回廊』の作成にあたってはこんなエピソードがあったようです。

墨俣に暮らして五十年ほど経って退職した頃、こゝに墨俣についての歴史や文化についていかに知らなかつたかを実感されたといいます。そんな折、地元にお住まいだった故Hさんから十年ほど前に様々な話を伺うことができたのだという。

それ以来墨俣の歴史や文化に興味を抱き、奥様とともに墓参りや散歩しながら、その途中に出会った人々から「コツコツ」と情報を集められたとお話しいただきましたが、その数なんと二百人以上。

今年でおよそ十年。まとめられた資料は400ページにもなるという。それぞれのページには写真が添えられ、地域遺産がわかりやすく整理され、後世に伝え残されることになる貴重なもの。撮った写真は5万枚以上。腕前もさすがと思わせるもの

ばかり。また「つりびな小町めくり」の記録も毎年、アルバム的に残され、将来貴重な資料になることは間違いないことだろう。光受寺のページも5ページほど乗せていただいております。脇本陣に保管されているところから、ぜひ一度ご覧いただけたらと思います。



とても見やすく、わかりやすくまとめられています。



今月の掲示板

青色青光 黄色黄光
 赤色赤光 白色白光

阿弥陀教』

青色は青く光り、
 黄色は黄色く光り、
 赤色は赤く光り、
 白色は白く光る。

私たちが他と比べることを「分別」といいます。ときにこの心は苦しみの原因や、大きなストレスになります。

しかし、仏様の世界、つまり浄土においては私たちのいのちは比べられることなく、それぞれに大切な存在であり、輝いているのです。

これはいのちのバカボンボン、こいつ歌あつたよね。



花すだれ



白い花火

今年も多くの「ご縁をいただきました」

今年はずかしくも、ライトアップの「日」にはすでに散り始めて一週間ほど経っています。この頃光受寺へのアクセス数が一万件もあったようですよ。新聞各紙に掲載されたこともあり、今年も例年にも増して多くの来寺者がありました。今ではすっかり剪定も終わり、落ち着いた境内になっていますが、芽吹きがどうなるかと毎年のことながら案じております。

待ち遠しかったメジロも2年ぶりにかわいい姿を現してくれてとてもうれしく思いました。



春季永代経勤まる。三月二十一日祝

この日は生憎の雨となりましたが、多くのご門徒の皆様のご参詣をいただくことができました。

久しぶりの外部講師をお招きして、ご法話を聞かしていただくことができました。

資料として「たまし絵」を活用されてのご法話に皆さん、やや興奮気味で楽しく聞かせていただくことができました。

午後はいつものように若坊守が法話をしてくれました。仕事、子育て、勉強と頑張ってくれています。

岐阜教務所のテレホン法話の内容を話してくれましたが、来月号で紹介の予定です。

うれしかったこと

二月の事でした。金曜日の午後の喫茶日に突然の来客があったのです。京都出身の若い女性でしたが、例の月刊誌「さくら」を見て訪ねてくれたのです。

お寺めぐりが好き、この事でしたが、それにしても一人で山門をくぐり、本堂に上がって他のご門徒とも談話して下さったことに驚きと喜びが沸き起こりました。

三月の第二土曜日の学習会にも参加して下さったことも感激いたしました。

五月の学習会の予定

五月十一日(土)
 午後7時より
 若院法話
 座談 居場所「について」

新聞原稿募集！

皆様の日常でのお気づきなど、その思いをお聞かせください。

旅行記趣味何でも可。

住職 拝